



2025 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社スカラ
代 表 者 名 取締役 代表執行役社長 新 田 英 明
(コード番号：4845 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役 鈴 木 卓 人
(TEL 03-6418-3960)

上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2025 年 6 月 30 日基準日時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況、計画期間及び改善期間

当社の 2025 年 6 月 30 日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっております。流通株式時価総額については基準に適合していないため、現在改善期間に入っております。当社は、今回不適合となった流通株式時価総額を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。なお、流通株式時価総額基準について、2026 年 6 月 30 日までの改善期間内に適合していることが確認できなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する 2026 年 6 月 30 日時点の分布状況表に基づく東京証券取引所の審査の結果、流通株式時価総額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は 2026 年 6 月 30 日に上場廃止となる可能性があります。

なお、2025 年 6 月 24 日付適時開示「スタンダード市場への市場区分変更に向けた方針に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社の事業規模や取り巻く市場状況を鑑み、中長期的な企業価値向上に向けたスタンダード市場への市場区分変更を検討しております。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の 適合状況	2025 年 6 月末 時点	16,274 人	154,376 単位	61 億円	86.9%
上場維持基準		800 人	20,000 単位	100 億円	35.0%
適合状況		適合	適合	不適合	適合
計画期間（改善期間）		-	-	2026 年 6 月末	-

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日（2025 年 6 月 30 日）時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組みの基本方針、課題及び取組み内容

(1) 基本方針

当社は、事業構造改革を完了させ、収益基盤を確立したことを踏まえ、本日公表いたしました「中期経営計画 2026-2028」で掲げた成長戦略を着実に推進し、事業変革とポートフォリオの最適化、及び中核事業の収益力を強化することで、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。あわせて、健全な財務基盤と株主還元の両立を図ることで、株主をはじめとするステークホルダーの皆様からの信頼を高め、これらの取組みを通じて流通株式時価総額の向上を図り、基準達成を目指してまいります。

(2) 課題及び取組み内容

上場維持基準における「流通株式時価総額（100 億円以上）」の構成要素は、「時価総額」及び「流通株式比率」で構成されておりますが、当社においては、基準日時点で「流通株式比率」は基準を満たしており、「時価総額」の向上が最大の課題であると認識しております。「時価総額」の向上に向けては、信頼回復と再成長への道筋を確かなものとし、業績改善を着実に実現していくことが極めて重要であると考えております。

① 時価総額の向上（企業価値向上と株価上昇）

これまで当社は事業ポートフォリオが多岐にわたり、経営資源が分散しておりました。その結果、各事業の収益性が十分に向上せず、当社の本質的な企業価値が市場に適切に評価されていないという課題を抱えておりました。この状態が株価の低迷と時価総額の未達を招いたと認識しております。時価総額を継続的に向上させるために、事業成長による企業価値の向上が不可欠です。「中期経営計画 2026-2028」の達成に向け、以下の事業戦略を柱として連結業績の成長を加速させてまいります。

・DX 事業のさらなる強化

当社の成長を牽引する DX 事業において、SaaS/ASP サービスの安定収益を基盤としながら、顧客との継続的な関係を築く「パートナー型」ビジネスモデルを深化させ、LTV（顧客生涯価値）の最大化を目指します。特に、自治体との強固な関係を活かした「行政連携 SaaS 群」や、AI 技術を活用した「次世代 BPaaS」の構築により、ストック型収益を拡大させます。2025 年 6 月期は事業構造改革の成果もあり、セグメント利益は 776 百万円（前期は 1,168 百万円の損失）と大幅に黒字化しており、この収益性をさらに高めてまいります。

・人材事業の回復と再成長

2025 年 6 月期は一時的なリソース不足の影響を受けましたが、2026 年 6 月期は（株）アスプラのリソース改善と（株）GearEmake の通年黒字化により、売上収益・営業利益ともに前年同期比で増加を見込んでおります。採用・育成の強化を着実に実行し、事業の再成長を実現します。

・TCG 事業の成長加速

EC サイト「カードショップ -遊々亭-」は、物流拠点の拡張や海外直接配送サービスの開始などにより、堅調に成長しております。今後は、海外市場の本格的な取り込みや、業界の DX 化に貢献する「トレカ卸向け業務システムの SaaS 展開」など、新たな成長機会を捉え、事業拡大を図ります。

② 流通株式比率の維持・向上と市場からの適正評価獲得

株価に加えて、流通性の確保も重要な課題です。企業価値が株価に適切に反映されるよう、以下の取組みを推進してまいります。

・株主還元の強化

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と捉えており、子会社等株式売却益等の特殊要因を除いた税引前利益の 50%を配当金総額の目安としております。この方針に基づき、2025 年 6 月期は年間配当 16.5 円、2026 年 6 月期は 1 株当たり 17.0 円への増配を予定しております。今後も、強固な財務基盤を活かした成長投資と並行し、安定的かつ継続的な配当の維持と業績連動の両立に努めてまいります。

・IR活動の強化

当社は、全てのステークホルダーに対し、当社の企業価値や成長性をより深くご理解いただくためのIR活動を強化することが重要であると認識しております。具体的には、中期経営計画の進捗の定期的な開示、IRページにおける開示情報の質と量の充実、個人・機関投資家に向けた情報発信やコミュニケーション機会の強化と充実に取り組んでまいります。市場との建設的な対話を促進し、企業価値に対する適正な評価の獲得を目指します。

3.（ご参考）スタンダード市場の上場審査基準への適合状況

市場区分変更へ向けた形式要件につきまして、2025年6月末時点において、当社試算ではスタンダード市場の上場審査基準（株主数・流通株式数・流通株式時価総額・流通株式比率）のすべてを充足しており、あわせて申請に必要とされる利益基準（税引前利益1億円以上）についても充足しております。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の 適合状況	2025年6月末 時点	16,274人	154,376単位	61億円	86.9%
上場審査基準		400人	2,000単位	10億円	25.0%
適合状況		適合	適合	適合	適合

※ 上記は、東京証券取引所が基準日（2025年6月30日）時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

以 上